

2011年 富士チャンピオンレース第1戦

予選1位 決勝2位

参加台数22台

開催日：4月24日



レーシングドライバー武平良介 レース報告書

路面コンディション…ドライ 天気…曇り☁ ベストタイム…1分51秒2

1本目から前回とフロントのセットを変えて挑んだ。しかし、フロントが浮きやすくなりタイムロス。1分52秒0というタイムで1セッション目を終えた。

2本目からはマシンのセットを過去1番良かったものに変更し、タイヤを新品にしてタイムアタック。マシンのバランスは非常に良く大幅にタイムアップし、過去に自分が出したコースレコードをも上回る**1分51秒2というタイムを叩き出した。**

3セッション目はシフトダウンのタイミングや時間とタイヤの消耗具合を把握するために30分間をノーピットストップで走った。この日は台数が多くタイムは安定しなかったが自分の走りは安定していて1分51秒3という好タイムを出すことが出来た。



路面コンディション…レイン 天気…雨☔ ベストタイム…2分03秒2

この日は朝から比較的強い雨が降っていて、フリー走行も雨は強かった。自分は**S-FJでのレイン走行自体が初めてであり、富士スピードウェイでのレイン走行も初めてだった。**それに加えてレインタイヤの新品は1セットしかなく、フリー走行から新品タイヤを履かなければならなかった。そのため、1回しかないフリー走行はタイヤを使って攻めることなく温存しながらラインだけ確認する走行となった。タイムは2分08秒8でトップから1秒5落ちだった。

フロントのセットを少し変更し、トップで予選アタックに向かった。初めて本気で走る雨の富士、雨の**S-FJ**という状況の中、コースアウトしながら**1周目から OSAMU 選手と激しいポールポジション争いを演じた。**5周目を過ぎた頃、自分は雨のコースとマシンに慣れてミスがなくなって来たと同時に**圧倒的な速さを見せて2番手以降を大きく離れた。**最後には、1つ上のクラスの**F4**と比べても**7番手というタイムを叩き出し、完璧にポールポジションを獲得した。**

路面コンディション…ドライ 天気…晴れ☀ ベストタイム…1分51秒4

昨日とは打って変わって天気は快晴。フォーメーションラップ時には路面に濡れているところがあったが、1周する間に乾ききって完全なドライコンディションだった。そして運命のスタート。**タイミングは良く、好スタートをした。**しかし、スタート直後の2番手 OSAMU 選手の伸びが良く1コーナーまでに前に行かれてしまう。1位 OSAMU 選手、2位が自分という順位で周回を重ねて行く。**OSAMU 選手と自分はコースレコードを互いに更新し合い3番手以降を大きく引き離すハイスピードバトルとなった。**OSAMU 選手と自分は1秒程の僅差のまま11周に渡り付かず離れずのバトルを繰り広げた。そして最終ラップに1位の背後まで迫り、最終コーナーでブロックをこじ開けインからオーバーテイク。**ストレートを1位で立ち上がると**2位の OSAMU 選手は若干失速しているように見えた。しかし、OSAMU 選手は自分よりストレートが5~6キロ速いマシン。フィニッシュラインまでに逆転を許してしまい2位でフィニッシュとなった。



まとめ

予戦は初めての雨であったのにも関わらず、冷静に走行しポールポジションを獲得できて良かったと思う。このポールポジション獲得は自分の**レインに対して更なる自信に繋がりました。**

決勝はスタートはスムーズだったものの2番手の選手のロケットスタートへの反応が遅れてしまい抜かれてしまった。もっとはやくにチェックしてインを抑えれば1コーナーで前に出れたかもしれない。スタートで前に行かれた後は、ストレートで離され、コーナーで追いついていく展開で常に1秒程の差があった。自分は集中力を切らすことなく**毎周0.05秒程自己ベストタイムを確実に更新**していき1位との差を徐々に詰めていくことができた。そして最終ラップになんとか追いつき1度は抜いて1位になることに成功することもできた。最後は抜き返されてしまったが、**攻めながらもミスのない走りが出来たことは大きな収穫だ。**

負けたのはとても悔しいですが次に繋がるレースができました。自分とチームの方々、自分がレースをするのに携わってくれている全ての方々が今回のレースを見て、悔しい以上に次戦での優勝に力を入れてくれています。**自分はずっともっとドライバーとしての技量を磨き成長し、今年はずっと必ずチャンピオンを取ります。**

今後とも応援よろしくお願ひいたします。